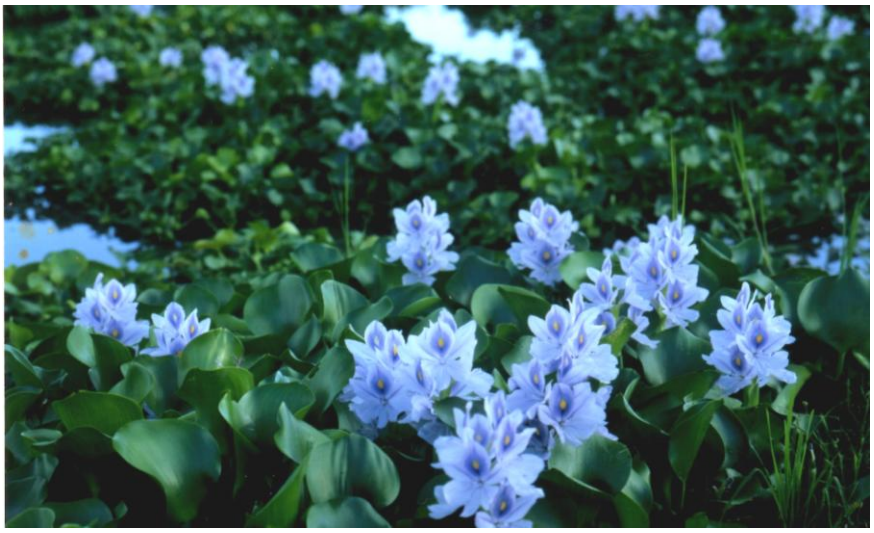
第 2630 地区　多治見西ロータリークラブ



薬師寺　花：ホテイアオイ　隅谷洋里写

WEEKLY

REPORT

第 48 期会長テーマ

ありがとう　広がる笑顔　奉仕の心

例会日　毎週木曜日
例会場　産業文化センター
事務局　多治見市新町 1-23
産業文化センター４F
TEL　0572-25-5100　FAX　0572-25-5101
Eメール　n-rc@joy.ocn.ne.jp
ＨＰ　http://tajiminishi.jimdo.com/
会長　伊藤義弘　幹事　齋藤明

第 2291 例会　2013 年 7 月 25 日（木）

お　祝　い　例　会

例会場　点鐘 12:30

本日のプログラム

点　鐘
ロータリーソング　手に手つないで
四つのテスト
会長挨拶
出席スマイル報告
委員会報告
その他
幹事報告
Ｉ．Ｇ．Ｍ．（Ａグループ）報告
ｻﾌﾞﾘｰﾀﾞｰ　中島竹壽君
お祝い　親睦委員長
お誕生日

点　鐘

7 月のお祝い

お誕生日

23 日　柘植途始江君
6 日　伊藤正子様　（義弘君夫人）

着信書類

・ローターアクトクラブより
2013 年～14 年度予算書・年間スケジュール
チャリティボーリング例会の案内
もの作り例会の案内
・ガバナー事務所・地区大会事務所より
夏季休暇のお知らせ
8 月 13 日（火）～16 日（金）

今後の予定

8 月 1 日　定例理事会　3F 特別会議室
卓　話　会員増強委員会担当
8 日　ガバナー補佐訪問
クラブアッセンブリー
例会終了後　4F 特別会議室

先週の記録

会員数 38 名　出席義務者 33 名
免除者 5 名　内出席者 3 名

◆　**出席報告**

出席者	欠席者	出席率
30 名	6 名	83.33%

◆　**スマイル報告**　投函者 18 名　金額 19,000 円

・管理栄養士の森さんの卓話期待しています。
嶋内龍男

先週の卓話
管理栄養士　森祐子様
「健康に過ごすために知っておきたい食べ物の力」

Ｉ．Ｇ．Ｍ．（Ａｸﾞﾙｰﾌﾟ）報告

サブリーダー　　中島竹壽

日　時：7 月 18 日（木）18:30　場　所：松　正
ﾘｰﾀﾞｰ　松浦毅　　ｻﾌﾞﾘｰﾀﾞｰ　中島竹壽
執行部　伊藤義弘　　Ｒ情報　山下智久
大岩順子　加知康之

2630 地区 80 ロータリーで 2 名のガバナーを排出しているのは多治見西ロータリークラブだけだと力強い松浦リーダーの挨拶からはじまったＩＧＭの報告をします。クラブの活性化と会員増強のテーマの他、忌憚のない意見をということで以下のような意見がでました。

① 西ロータリーから 2 名のガバナーが輩出されている認識が弱いのでもう少し強調するべきではないか。
② 本年度は会員総数 40 名を目標に会員増強を頑張る。
③ ガバナー年度は特に力を入れるべきである。
④ 委員会活動が少ないのでそれぞれの委員は、このＩＧＭを活発化したほうが良いのでは。
⑤ 社会奉仕で活動することを地域にもっと発信すると良い。色々な活動をつうじてロータリーの良さを知っていただく。
⑥ ＣＬＰがその内容に沿っている。
⑦ 会員はロータリーの魅力を再認識して新しい会員に伝えて行く。
⑧ 西ロータリーは女性が元気、もっとＰＲすべきである。
⑨ 夫がロータリーに入っていないと奥様だけではロータリーに入りにくい。
⑩ メンバーが退会されるときは後継者を入れていただけるようお願いする。

以上、やはり会員増強の問題を中心に活発に意見交換したあとは、酒を酌み交わして和気あいあいの中で終了しました。

青少年交換委員会夏季派遣学生・春季受入学生オリエンテーションに参加して

石垣智康

当地からの夏季派遣交換留学生（2013.8~14.8）4 名と春季受入交換留学生 2 名が一同に集まった。派遣される高校生は 4 名で各 2 人ともアメリカとオーストラリアであるが，当日このうち 1 人は家庭に不幸があって欠席したものの，留学には応ずるとのことであった。出席した人の中には，渡豪を前にして指を骨折して包帯で腕を三角形に固定した姿で参加した者もいた。彼らはそれぞれの抱負を述べていたが，勿論高校野球の選手宣誓のような雄姿は見られない。16 歳の，初めて親元をはなれた海外の生活が不安を抱かせない筈はない。彼ら，彼女らは私費留学と違い，使命を担っていくわけであるが，当委員会は，いつでもロータリーが応援するから安心して出発するようにと，支援の言葉をおくった。竹腰カウンセラーからは，「若者へのお手本になる姿勢で臨んでほしい」と励ましの言葉があった。同伴の親御さんからの心構えが素晴らしく「派遣されてから向こう 3 か月間は，いっさい連絡を取り合わない。その間，懸命に溶け込むようにと，また帰国したら地域や青少年活動に励むよう，親子で話し合っている」という。

ロータリーの精神を行動をもって示してくれることを期待したい。派遣・受入の学生には，若い人にチャンスを提供するのは年上の人間の大切な仕事なので，是非この機会を生かして欲しいものである。近年，日本では，海外留学生の少なさを指摘されているが，ロータリーは海外からの受入交換留学生の希望者は減少していないものの，派遣希望者は減少している。このところ，ホストファミリーの高齢化による受入側の態勢に問題が生じている。

このことは，昨今の日本の事情を物語っている。

7 月 15 日（月）於：ホテルグランディール岐山